資料1

熊本地震からの創造的復興に向けた「重点１０項目」等の取組みの進捗状況について

令和７年（２０２５年）４月

熊　本　県

【創造的復興に向けた重点10項目等】

1.「すまい」の再建（2027年度完了予定）
2.災害廃棄物の処理（完了）
3.阿蘇へのアクセスルートの回復（完了）
4.熊本城の復旧（2052年度完了予定）
5.益城町の復興まちづくり（2027年度完了予定）
6.被災企業の事業再建（2025年度完了予定）
7.被災農家の営農再開（完了）
8.大空港構想NextStageの実行（一部完了）
9.八代港のクルーズ拠点整備（完了）
10.国際スポーツ大会の成功（完了）

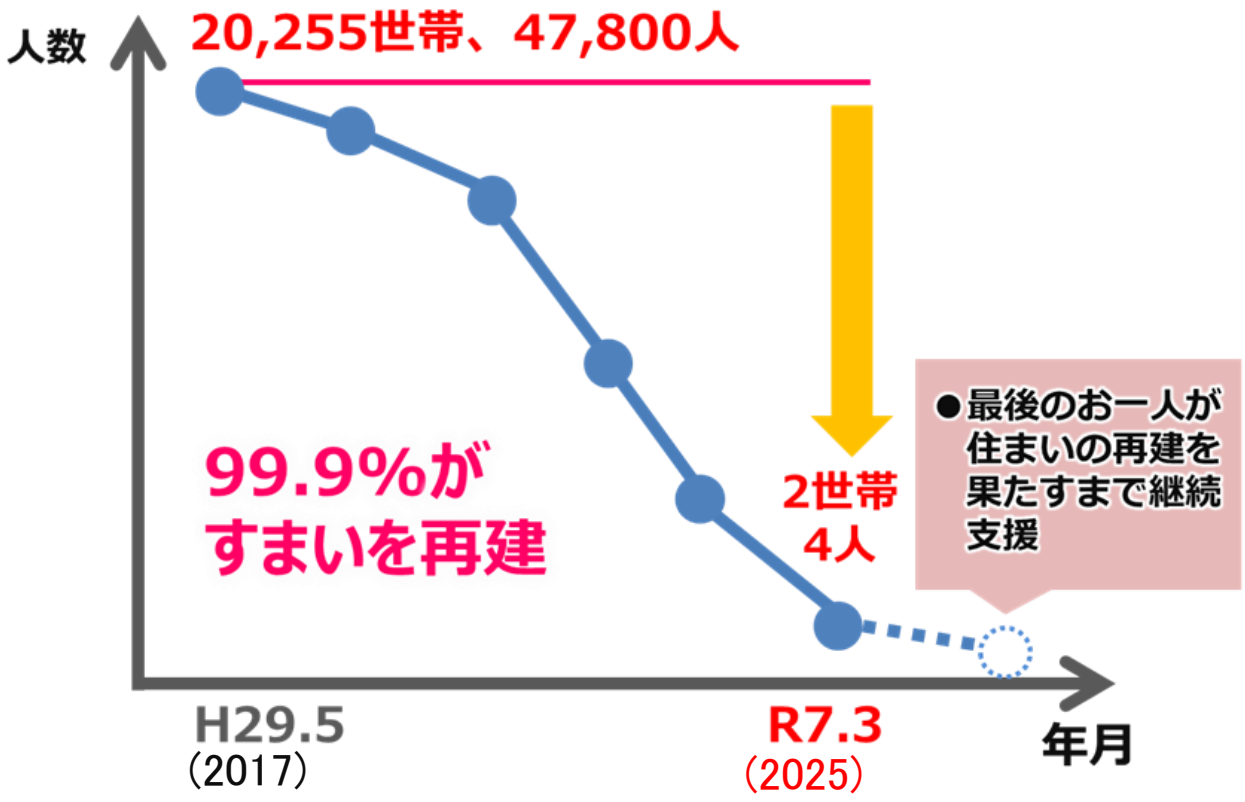
11.熊本地震震災ミュージアム（完成）
12.ONE PIECE熊本復興プロジェクト（完成）

1.「すまい」の再建

２０２３年３月末、災害救助法による応急仮設住宅の供与終了

・ピーク時（2017年5月末）、20,255世帯、47,800人が仮設住宅に入居
・益城町の土地区画整理事業の影響により自宅再建ができない方々（2世帯、4人）には、県・益城町の独自支援により、仮設住宅よりも快適な住環境を提供
・<u>今後も益城町と連携し、最後のお一人が住まいの再建を果たすまで支援を継続</u>

仮設住宅入居者数



災害救助法から県・町の独自支援

仮設住宅から災害公営住宅へ無償入居

2. 災害廃棄物の処理

完了

◆2018年12月末に全ての市町村で公費解体と災害廃棄物の処理が完了。
①公費解体済数：35，675棟
②災害廃棄物処理量：約311万トン　再生利用率：78．2%〔目標の70%以上を達成〕

地震直後（2016年）

処理完了後

3. 阿蘇へのアクセスルートの回復~道路~ 完了

国道５７号／国道３２５号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後（2016年）

現在

2020年10月3日　開通

国道57号現道部

国道57号
北側復旧ルート

2021年3月7日開通

国道325号
新阿蘇大橋

3. 阿蘇へのアクセスルートの回復~鉄道~ 完了 P5

JR豊肥本線

南阿蘇鉄道

地震直後（2016年）

◀ＪＲ豊肥本線
沿線斜面崩壊等により
肥後大津駅～阿蘇駅間が
不通に

南阿蘇鉄道▶
トンネルや橋梁に甚大な被害
が発生し、立野駅～中松駅
間で運休

現在

◀ＪＲ豊肥本線
2019年度末 国･県工事概成
2020年８月８日
全線運行再開

南阿蘇鉄道▶
2022年4月 (一社)南阿蘇鉄道管理機構設立、2022年度 復旧工事完了
→ 2023年4月から上下分離方式に転換
2023年7月15日全線運行再開、再開と同時のJR豊肥本線乗入れ開始

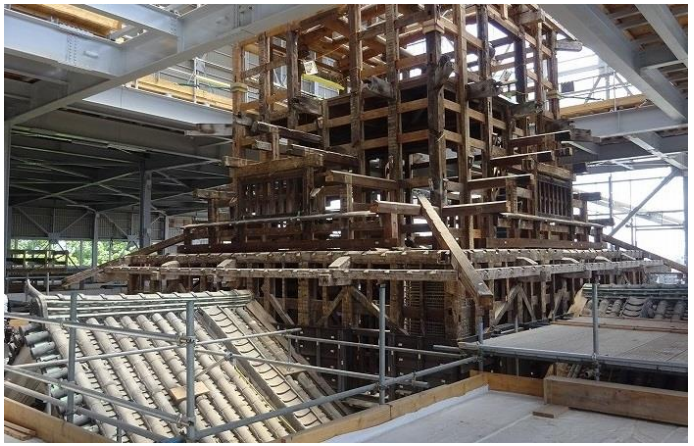
4. 熊本城の復旧

地震直後（2016年）

2016年4月22日　頬当御門から天守閣方面

2016年４月22日　飯田丸五階櫓被災状況

現　在（2025年）



解体修理中の宇土櫓

公開中の特別見学通路

【今後の復旧の見込み】
- 2032年度　宇土櫓、本丸御殿の復旧完了
- 2042年度　全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧完了
- 2052年度　全ての復旧が完了

5. 益城町の復興まちづくり

県道熊本高森線４車線化（約３.８km）

２０２５年度事業完了を目標

地震直後（2016年）

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動等に大きな支障が発生

被災状況

被災状況

現　在（2025年）

・起点側（熊本市側）から惣領交差点までの約1.6km区間を供用済
・2025年度中の全線供用に向けて、引き続き工事を推進

4車線での供用状況

4車線化工事の状況

5. 益城町の復興まちづくり

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業（約２８.３ha）

２０２７年度事業完了を目標

地震直後（2016年）

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生

被災状況（寺迫地区）

被災状況（宮園地区）

現　在（2025年）

・仮換地は全482画地を指定完了(2025年3月)、約7割(323画地)で宅地造成工事に着手、約5割(232画地)は権利者へ引渡し済
・事業区域内では、町の復興まちづくりセンターや新庁舎が供用済
・2027年度の事業完了に向けて、計画的に事業を推進

写真①

施行面積　約28.3ha

写真②

すまいの再建状況（宮園地区）

写真③

木山初市の状況（木山横町通り）

6. 被災企業の事業再建

グループ補助金による復旧支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援（２０２５年３月末現在）

５０６グループ認定構成者数	補助金申請件数（予定含む）	補助金の交付決定	復旧完了
9，452 件 ※補助金申請を要しないテナント等が含まれる	4，703件	4，699 件 交付決定済　９９.９％	4，699 件 復旧完了済　９９.９％

地震直後（2016年） → **現　在（2025年）**

～事業者復旧の一例～

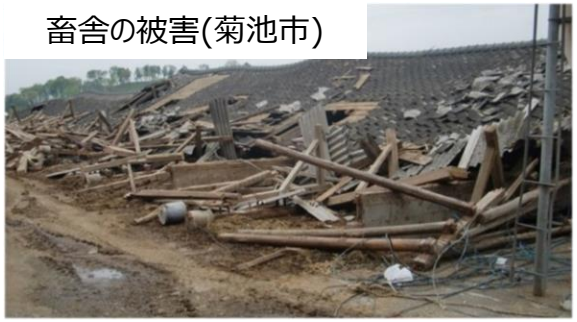
7. 被災農家の営農再開

完了

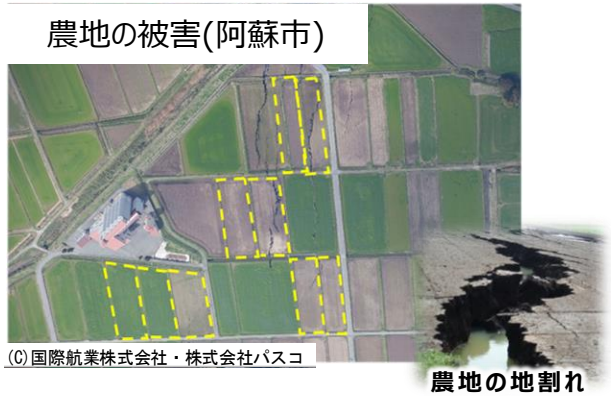
地震直後（2016年）

地震により農地、農業用施設に被害が生じ、多くの農家が営農継続困難となった。

畜舎の被害(菊池市)



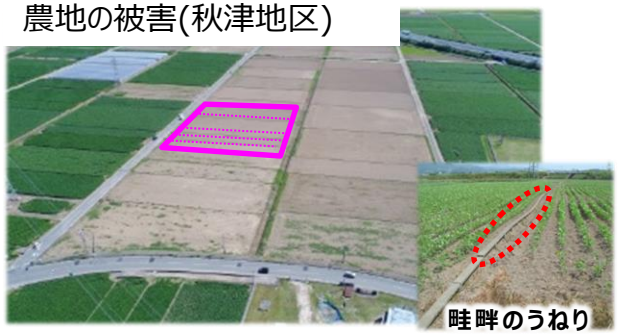
農地の被害(阿蘇市)



(C)国際航業株式会社・株式会社パスコ

農地の地割れ

農地の被害(秋津地区)



畦畔のうねり

創造的復興

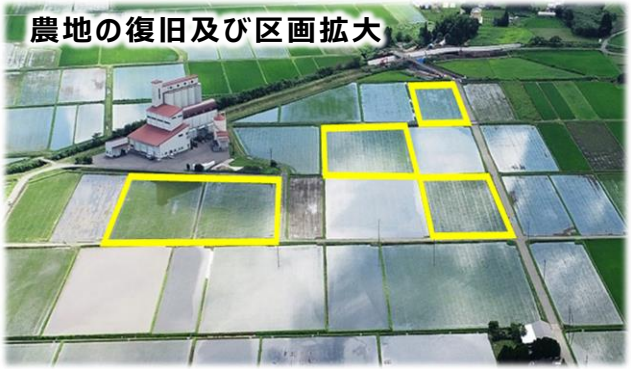
現　在

【進捗状況】
被災農家の営農再開：２０２０年末までに**営農再開１００%**
創造的復興による農地の大区画化：３地区で**施工完了**

農業用施設（畜舎）の復興

営農再開

農地の復旧及び区画拡大



農地の復旧及び区画拡大

大区画化
被災前の5% ⇒ 81%
集積率
被災前の22%⇒ 53%

7. 被災農家の営農再開

取組みの概要

○ 熊本地震の農地等災害復旧事業については、**大切畑ダム（西原村）以外は全て完了**し、**大切畑ダムについても熊本地震からの復旧の「総仕上げ」**として、**2026年度の供用開始**に向けて最後まで着実に工事を実施。

○ 今後とも、町村と密に連携し、生産者の意向に沿えるよう最善を尽くして参ります。

大切畑ダム（西原村）の取組み

ダム工事の実施

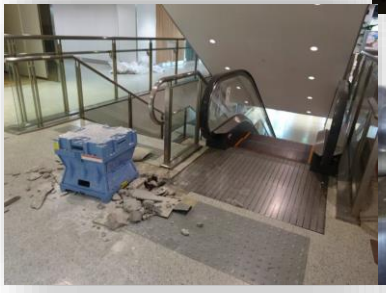
2026年度供用開始見込み

8. 大空港構想NextStageの実行

コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興

完了

地震直後からの取組み（～2022年）

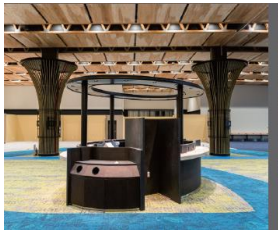


2016.12
コンセッション方式
による国内線・国際線
ターミナルビルの一体的
整備・耐震化を表明

2019.3　優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
2019.4　空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
2020.4.1～　熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
2020.4.7～　国内線別棟ビル供用開始
2021.1.15～　新旅客ターミナルビル着工

2023年3月23日　国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル供用開始

2051年度目標値
- 国際線17路線
- 旅客数622万人
（うち国際線175万人）
- SKYTRAX5スターを取得



8. 大空港構想NextStageの実行

空港アクセス鉄道の実現に向けた取組み

参考資料：新大空港構想

中九州横断道路
MT. ASO
阿蘇山
HIGO OZU STATION
肥後大津駅
ASO KUMAMOTO AIRPORT
阿蘇くまもと空港
TECHNO RESEARCH PARK
テクノリサーチパーク
TOKAI UNIVERSITY
東海大学
阿蘇くまもと
臨空キャンパス

9. 八代港のクルーズ拠点整備

完了

国

①クルーズ専用岸壁
(一部耐震強化岸壁)【延長410m】
・年間３６５日の受け入れが可能
・世界最大２２万ｔ級のクルーズ船受け入れが可能

ロイヤルカリビアン社

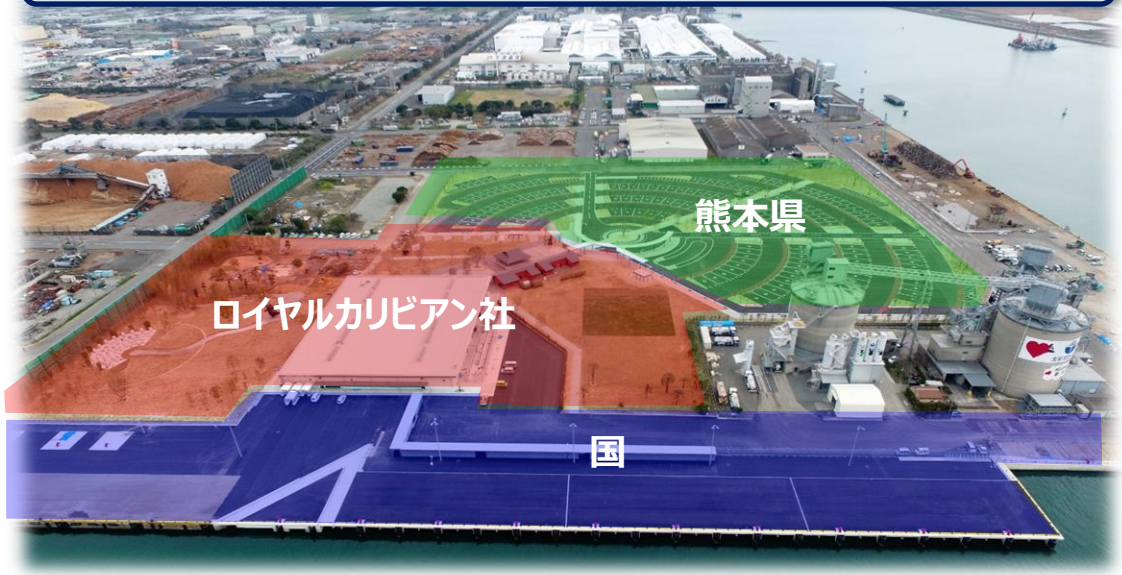
②旅客ターミナル
【延べ床面積　約 3,600㎡】
・出入国時の手続き時間等が短縮

③くまモンパーク
・ビッグくまモン（6m）
・日本庭園
・くまモン合唱隊（54体）など

熊本県

④駐車エリア【面積 約4.4ha】
・大型バス 最大１５０台の駐車可
・乗用車等 最大６００台の駐車可

くまモンポート八代（2020年3月完成）



10. 国際スポーツ大会の成功

完了

２０１９女子ハンドボール世界選手権大会

2019年11月30日（土）～12月15日（日） 県内5会場

≪参加国≫ 24ヵ国 計96試合

■ 大会結果(順位) 日本10位！

優勝 オランダ

写真提供：JHA

準優勝 スペイン

3位 ロシア

観戦者数 ３１５，７４８人

■ 経済波及効果

2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※（ ）は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
98.52億円 (91.58億円)	81.93億円 (76.35億円)	16.60億円 (15.23億円)

ラグビーワールドカップ２０１９™

熊本で2試合開催

フランス v トンガ
・2019年10月６日（日）
入場者数：28,477人

ウェールズ v ウルグアイ
・2019年10月13日（日）
入場者数：27,317人

■ 経済波及効果

ラグビーワールドカップ2019日本大会熊本開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※（ ）は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
106.76億円 (97.91億円)	89.65億円 (82.23億円)	17.12億円 (15.67億円)

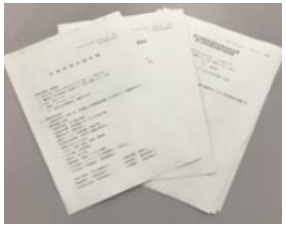
【熊本災害デジタルアーカイブ】

完了

熊本地震関連の資料を記録・整理・蓄積し後世に遺す

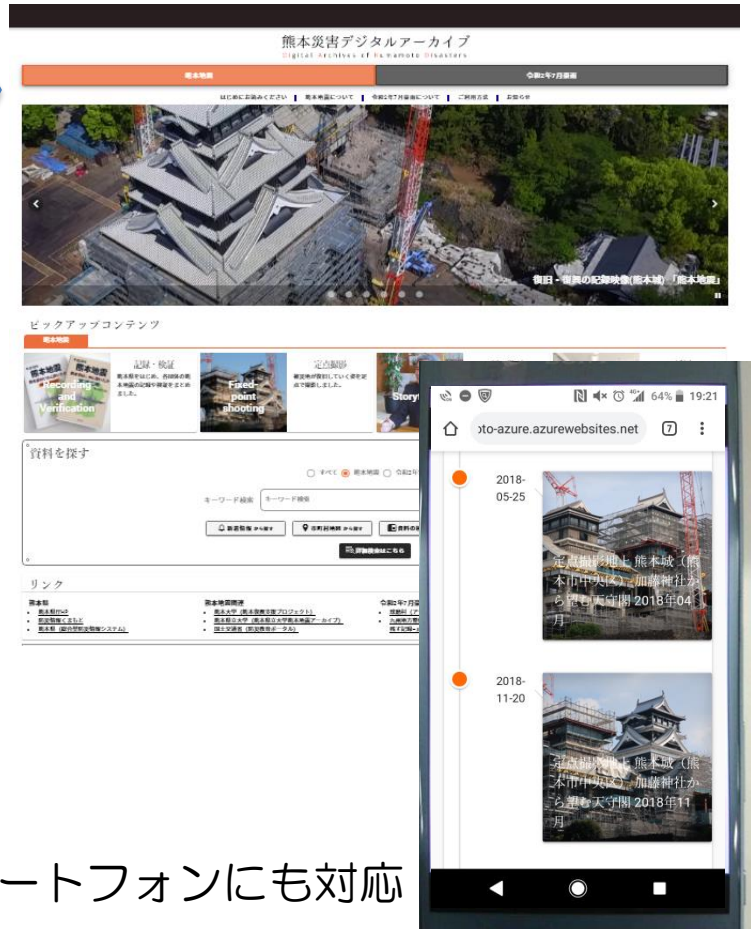
行政機関、大学、企業、団体等の協力を得て収集

〇災害対策本部会議資料
〇被害、避難生活、復旧・復興などの写真
〇各団体がまとめた検証・記録など



専用のウェブサイトで公開

https://www.kumamoto-archive.jp/



スマートフォンにも対応

利用

〇防災・減災対策
〇教育、研究
〇アーカイブサイト内の資料を使用した啓発映像の制作など

- ２０２５年３月末で約２１万点の資料を掲載
- 知事・市町村長インタビューや啓発映像なども掲載

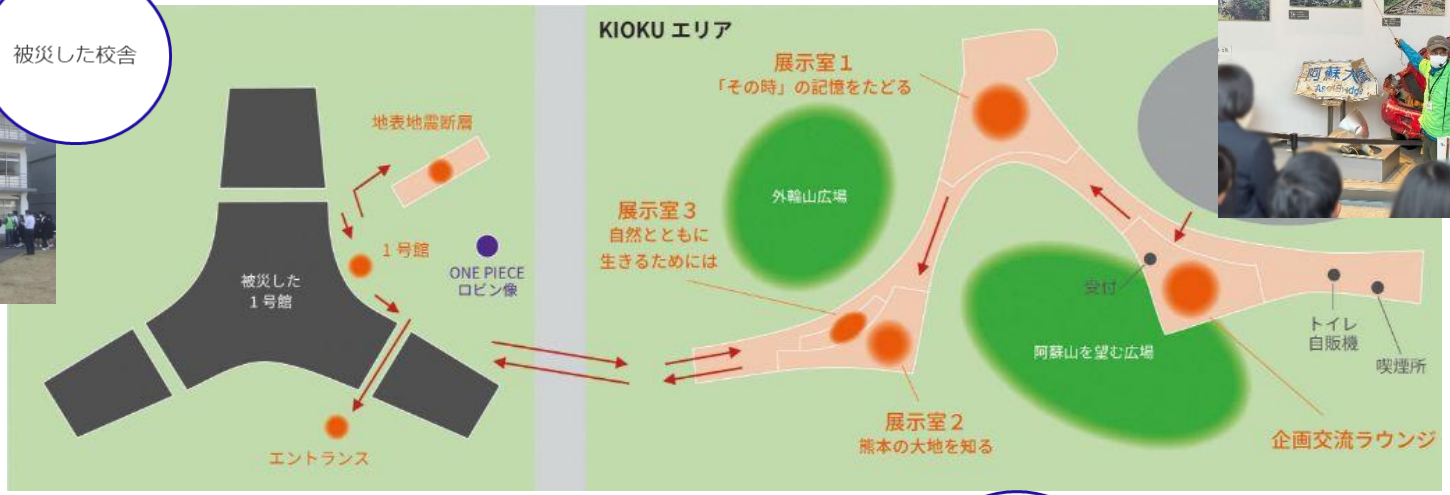
【熊本地震震災ミュージアム】
体験・展示施設「KIOKU」

完成

熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を後世に伝えるため、震災ミュージアムの中核拠点（南阿蘇村）に２０２３年7月１５日、ＫＩＯＫＵ（展示施設）をオープン

　各種解説映像や震災遺物の展示、語り部との交流などを通して、熊本地震を追体験するとともに、地震の発生メカニズムや熊本地震から得られた教訓を分かりやすく伝える。
　あわせて、自然の恵みや熊本の魅力も発信する。

被災した校舎



熊本地震の震災遺物実物展示

ロビン像

地震の教訓を自分事化するパネル展示

地形ジオラマと熊本の自然の魅力解説展示

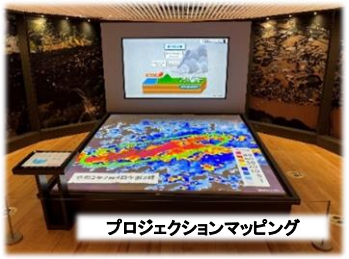
【熊本地震震災ミュージアム】防災センター 完成

県防災センター１階展示学習室に２０２３年５月１７日オープン

○ 熊本地震や令和２年７月豪雨など本県の過去の自然災害による被害状況や、災害発生のメカニズム、防災の取組などを、展示パネルやプロジェクションマッピング、VRなどで紹介。

○ 防災講話も実施しており、学生、地域の自治会や自主防災組織など、来室者の希望に合わせた研修コースをスタッフが案内。

○ 過去の災害の経験・教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにすることを目的として、「くまもと防災宣言」を策定。



くまもと防災宣言

私たちは、近年の世界的な異常気象の中、平成２４年熊本広域大水害や平成２８年熊本地震、令和２年７月豪雨と何度も大きな災害にあってきました。

そのたびに、混乱と戸惑いを経験しながらも、みんなで手を取り合い、苦難に立ち向かっていきました。

この経験や教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにするとともに、地域の中でつながり、防災の取組みを続けていくことが重要です。

そこで、ここに「くまもと防災宣言」を定めます。

一、 ひとりひとりが、災害から自分の命を守るため、早めの避難を心がけます

一、 もしもの時に備えるため、家族や地域で話し合います

一、 困っている人を支えるため、地域で声を掛け合います

一、 誰一人取り残さない社会を実現するため、県民総ぐるみで防災活動に取り組みます

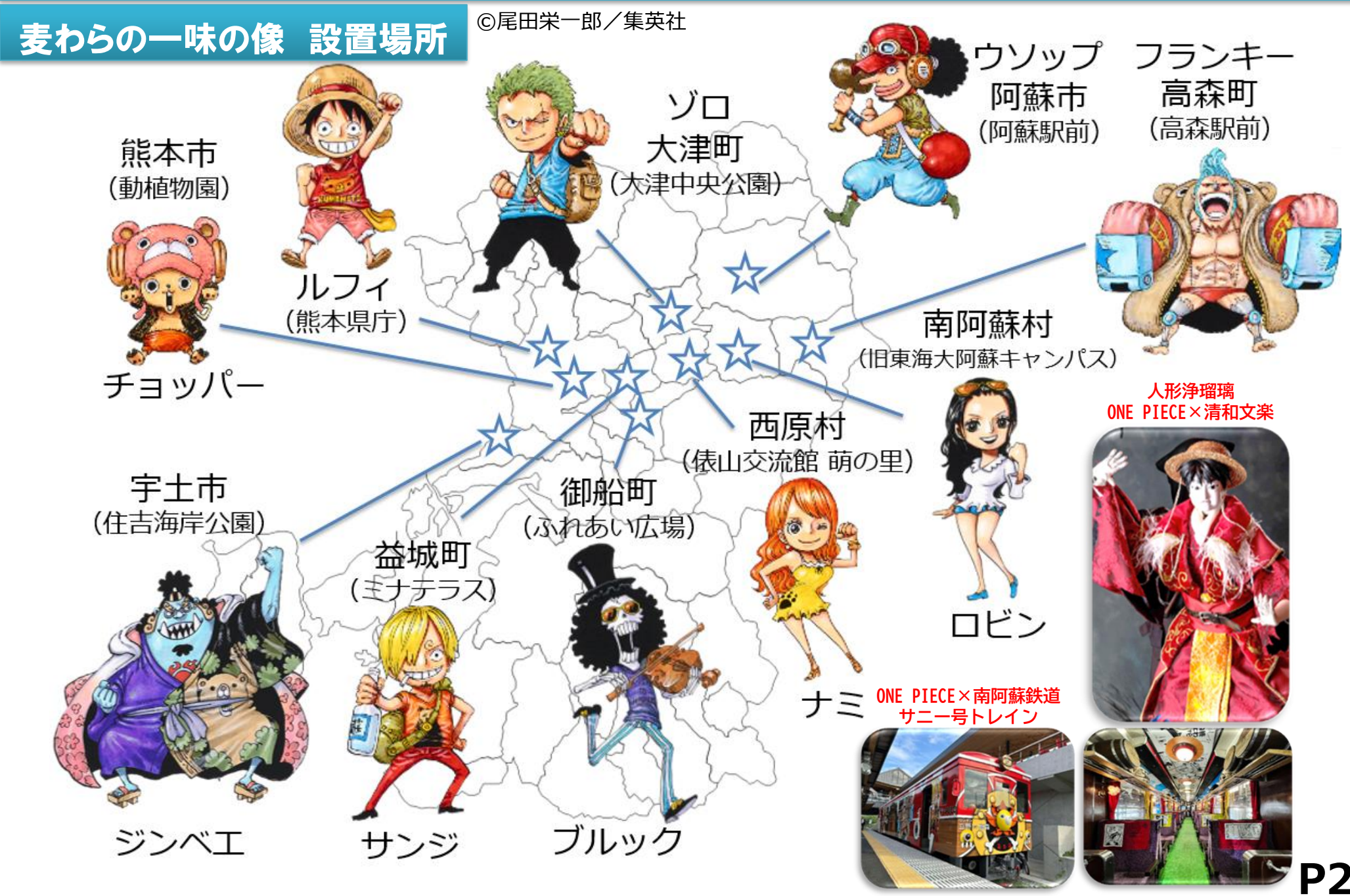
令と自然を守る

【ONE PIECE熊本復興プロジェクト】

完成

麦わらの一味の像　設置場所

©尾田栄一郎／集英社



熊本地震からの創造的復興の状況について（ロードマップ）　令和7年（2025年）４月

～誰一人取り残さないくまもとづくり～

資料２

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名［担当部］		蒲島県政３期目				蒲島県政４期目				木村県政１期目	
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	
重点10項目 ①健康福祉部、土木部	「すまい」の再建 仮設住宅等入居状況	H28.11 応急仮設住宅（4,303戸）整備完了	H29.5【ピーク時】20,225世帯 47,800人 すまいの再建６つの支援策、個別・重点的な対応、見守り体制の強化		R2.3末 1,296世帯 3,122人	R3.3末 150世帯 418人	R4.3末 37世帯 95人	R5.3末 5世帯 10人	R6.3末 2世帯 4人	R7.3末 2世帯 4人	2027年度完了
	「すまい」の再建 応急仮設住宅、災害公営住宅の整備 完了				R2.3末 災害公営住宅（1,715戸）整備完了 ・ピーク時から9割を超える方が再建を実現 ・全ての世帯で再建の方向性に目途	益城町の土地区画整理事業（2027年度事業完了）など公共工事に関係する世帯の再建		・R5.3.31 災害救助法による応急仮設住宅の供与終了 ・県・益城町の独自支援に切り替え			
②環境生活部	災害廃棄物の処理 完了	公費解体		H30.12 災害廃棄物処理完了							
	災害廃棄物処理、公費解体	災害廃棄物の処理		二次仮置場の廃棄物処理プラントが岡山県で再活用							
③土木部、企画振興部、農林水産部	阿蘇へのアクセスルート（道路、鉄道）の回復 完了	道路 【R57】北側復旧ルート 無人施工				R2.10.3 開通					
		【R57】現道部 【R325】阿蘇大橋ルート 橋梁工事着手							R3.3.7 開通		
		俵山ルート 暫定開通			R1.9.14 開通						
		鉄道 JR豊肥本線 県砂防・治山工事の実施 【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、JR復旧工事（肥後大津駅～立野駅間の先行的な復旧工事）				R2.8.8 運行再開					
		南阿蘇鉄道 再生協議会設立、国の支援スキーム決定、復旧工事（立野駅～中松駅間）						R4.4.1 (一社)南阿蘇鉄道管理機構 設立	R5.4.1 上下分離開始	R5.7.15 全線運行再開	
④教育庁、土木部	熊本城の復旧	天守閣等 完了									
		熊本城復旧基本方針の策定（市）									
		重要文化財等 熊本城復旧基本計画の策定（市）									
		復旧工事（市）、災害復旧に伴う財政的支援			R1.10.5 特別公開①（大天守外観）	R2.6.1 特別公開②（特別見学通路）	R3.6.28 特別公開③（天守閣内部公開）				
		復旧工事（市）、災害復旧に伴う財政的支援				R3.1末 重要文化財長塀復旧完了		熊本城復旧基本計画の改定（熊本市）	R5.12 重要文化財監物櫓復旧完了	R6.4 重要文化財宇土櫓解体修理開始	2052年度復旧完了
⑤土木部	益城町の復興まちづくり	熊本高森線４車線化 H29.2.3 都市計画決定	H29.3.10 事業認可	H30.4.1 益城復興事務所開所	H31.1～ モデル地区先行整備 用地買収促進 歩道部整備	R2.3末 モデル地区完成 用地買収促進 車道部整備着手	用地買収 90% 工事促進	R4.5末 益城町惣領にぎわい拠点オープン 用地買収 95% 工事促進	用地買収 99% 工事促進	R6.4.14 惣領交差点迄4車線で供用開始	2025年度事業完了
		益城中央被災市街地復興土地区画整理事業	H30.3.8 都市計画決定	H30.10.5 事業計画決定	R1.6末 仮換地指定	R1.11～ 工事着工	R2.6～ 宅地引渡し 仮換地指定70% 造成工事、宅地引渡し	R4.4.1 益城町復興まちづくりセンターオープン	仮換地指定85% 造成工事 宅地引渡し	R5.3.28 益城町新庁舎完成	R7.3末（見込み） 仮換地指定 100% 宅地造成着工 67% 宅地引渡し 48%	2027年度事業完了

熊本地震からの創造的復興の状況について（ロードマップ）　令和7年（2025年）４月

～誰一人取り残さないくまもとづくり～

資料２

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名［担当部］		蒲島県政３期目				蒲島県政４期目				木村県政１期目
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
⑥ 商工労働部	被災企業の事業再建	グループ補助金による施設・設備の復旧			R2.3末 交付決定率：99.7% 事業完了率：98.9%	R3.3末 交付決定率：99.8% 事業完了率：99.7%	R7.3末 交付決定：99.9% 復旧完了：99.9%	補助金と同スキームの県単独事業による支援（残り４件） R4.3末 交付決定率：99.8% 事業完了率：99.8%	R5.3末 交付決定率：99.9% 事業完了率：99.9%	R6.3末 交付決定：99.9% 復旧完了：99.9%	R7.3末 交付決定：99.9% 復旧完了：99.9% → 2025年度末 復旧完了
							利子補給			
		制度融資による資金繰り支援　等								
⑦ 農林水産部	被災農家の営農再開 **完了**	大豆転作等で営農継続支援	営農施設・農地の復旧		R2.3末 営農再開率 99.8%	R3.3末 営農再開率 100%				
		農家等が自ら行う応急工事・簡易な復旧工事支援	農地の大区画化による創造的復興（秋津、阿蘇谷、乙ヶ瀬地区）							
⑧ 企画振興部	大空港構想 NextStageの実行	新ターミナルビルの整備等 **完了**	「大空港構想 NextStage」策定		H31.3 優先交渉権者決定	R1.7～ 運営権者によるビル事業開始	R2.4～ 運営権者による全事業開始	R2.4.7 国内線別棟ターミナルビル供用開始	R3.1 新ターミナルビル着工	R5.3.23 新ターミナルビルオープン
			コンセッション方式導入表明							
		空港アクセス鉄道整備	交通システムの比較検討、鉄道整備の概略調査	鉄道整備に関する基本的方向性をJR九州が同意	鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望		R2.12～ 空港アクセス検討委員会開催	鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望	三里木ルートに加え、原水ルート、肥後大津ルートの追加調査	R4.12 肥後大津ルートに整備方針決定	鉄道線形検討等の鉄道概略設計事前調査の実施、環境アセスメント等の手続きを実施 → 2027年度 整備着手予定
⑨ 土木部、観光文化部	八代港のクルーズ拠点整備 **完了**	H29.1 「『官民連携による国際クルーズ拠点』を形成する港湾」に選定	H29.7 「国際旅客船拠点形成港湾」に指定	H30.2 八代港クルーズ拠点形成協定の締結（国・県・RCL）	（国）クルーズ船専用岸壁（県）駐車エリア、屋根付き通路等（RCL）旅客ターミナル、おもてなしゾーン	H30.12 三者で基本計画発表	R2.3 くまモンポート八代完成	R2.10.31～ プレオープン（県民向け公園として開放）	R3.10.23～ フルオープン（土日のみ）	R4.4.1～ フルオープン（平日含）	
⑩ 観光文化部	国際スポーツ大会の成功 **完了**	2019女子ハンドボール世界選手権大会			H30.11.30～12.9 アジア選手権大会	R1.11.30～12.15 本大会					
		ラグビーワールドカップ2019			R1.9.20～11.2 本大会（10/6、13熊本会場）						
後世への継承 ⑪ 知事公室、観光文化部	熊本地震震災ミュージアム **完成**	中核拠点の整備			R1.9 震災ミュージアム基本計画策定	R2.8～ 震災遺構（旧東海大学の校舎・断層）の一般公開	旧東海大学 体験・展示施設の整備				・旧東海大学 体験・展示施設完成（R5.7.15オープン） ・防災センター 展示スペース完成（R5.5.17オープン）
							防災センター（１階） 展示スペースの整備				
⑫ 観光文化部	ONE PIECE 熊本復興プロジェクト **完成**	像の設置			ルフィ像（県庁）	サンジ像（益城町） ウソップ像（阿蘇市）	チョッパー像（熊本市） ブルック像（御船町） フランキー像（高森町）	ナミ像（西原村） ロビン像（南阿蘇村） ゾロ像（大津町）	ジンベエ像（宇土市）	完成	R6.12.2 大海賊百景設置 → R7.4.26～ 麦わらの一味像周遊バスツアー運行開始
									南鉄全線再開	R5.7.22～ コラボ列車・サニー号	
								熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ（地域の魅力創造プロジェクト）			R6.3.30～ ONE PIECE×清和文楽 定期公演開始